

【平成17年度専修学校を活用した職業意識の啓発推進】

事業名	「パソコンインストラクターを目指して！」職業実践講座		
学校法人名	学校法人武田学園		
学校名	専門学校ビーマックス		
代表者	理事長 武田結幸	担当者・連絡先	繁田洋行 (086) 256-7610
<p>&lt;事業の概要&gt;</p> <p>高校生が専門学校の指導を受けながらパソコンインストラクターとなり、他者（大人）に講義することを体験し、同世代以外の人と「話す」「聴く」というコミュニケーションの取り方や、「挨拶」「敬語」「マナー」を実践する。</p> <p>さらにテキスト作り等、自らが率先して工夫を行い問題発見と解決をする力を身につける。</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>同年代以外の人とコミュニケーションをとる機会の少ない高校生にこの講座を提供し、最終日には自分たちの年齢とは異なった方と接して、パソコンの操作説明を通し会話をすることができた。最初は不安そうな高校生も時間が経つにつれサポートする声が大きくなり、言葉数が増えたことから自信がついてきたことが伺えた。</p> <p>この講座を開催するに当たり、自分達で講座の内容を企画し、テキストの作成、言葉の伝え方（インストラクション）の練習、最終日の会場設置まで準備したことは、たった2時間の講座を開催するにも細かく計画をし、時間をかけなければ旨くないということを知るきっかけとなり、物づくりの苦労や厳しさを学んだ。だからこそ、実施後に味わった達成感は生徒一人ひとりによって感じ方は違うと思うが、机上の学習では学べないもので、満足度は大きかったと思う。</p> <p>また、テキスト作りやインストラクションの練習には専門学校生を導入したことで、高校生は初対面の人から指導を受けるという刺激もあり、自分とは2～3歳しか年の差がない人ともコミュニケーションを取らなければならなかった。ちょうど社会に出たばかりの新入社員が先輩に教わるという刺激と似ていると感じた。出来上がったテキストは再編集にて修正したが、修正部分が少なかったことから、専門学校生と高校生がお互いに協力し合って「分かりやすいテキスト作成」を目標に作り上げたことが伺えた。</p> <p>以上のことからこの講座をするに当たり高校生には多くの学びと多くの刺激があったと思う。この講座をスタートした時点と講座の終了後に、市販のアセスメント検査にて取ったデータの数値にはハッキリした変化があり、毎日の学校生活では体験できない体験をして出てきた変化と変わる。</p> <p>今回体験した高校生が近い将来就くであろう職業にインストラクターということは考えられないとしても、どの職業に就いても今回経験したコミュニケーションは活かしていけると思うし、1つの事を成し遂げるには多くのエネルギーと忍耐が必要という体験は、今後の生活でも「頑張る」という行動を起こすものと予想される。</p> <p>このプログラムの体験は高校生にとって有意義であり、貴重な時間を過ごす事ができた。</p>			